

(別紙2)

自己評価及び外部評価結果

作成日

令和3年 3月 1日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	2794200374		
法人名	特定非営利活動法人ふれあいぼっぼ		
事業所名	グループホームぼっぼ大手町		
サービス種類	認知症対応型共同生活介護		
所在地	大阪府 茨木市大手町2番30号		
自己評価作成日	令和3年3月1日	評価結果市町村受理日	令和3年4月21日

【事業所基本情報】

https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/27/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&JigyosyoCd=2794200374-00&ServiceCd=320

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	NPO法人エイジコンサーン・ジャパン
所在地	大阪府大阪市住之江区南港北2-1-10 ATCビルITM棟9階
訪問調査日	令和3年2月22日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

施設の理念である「人を大切に つながりを大切に」をモットーとし入居者様それぞれのご様子を見極めながらなるべく自立支援を目標として努力しています。コロナ発生前は、地域密着・ご家族との交流を重きお置き毎日のように来ていただいていたご家族もおられました。現在面会面会していただけないのは残念です。一人一人にあった支援を心がけ共に支えあい充実した毎日を過ごしていただけるよう、落ち着いた環境の中でコミュニケーションを取るようにはしています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

グループホームぼっぼ大手町は高齢者認知症の方々が毎日を明るく楽しく過ごしていただける事を目的として設立された共同生活の家である。当該ホームの特徴的な生活支援の基盤としては「人と人をつながりの大切さ」を強く認識されている事であろう。家族の訪問はいつでも我が家のように来てもらう事もでき利用者にも喜ばれている。支援する側と受ける側の人が一帯となって生活していかれる事を究極の目標とされ、職員もその領域を目指すようにして自己研鑽とスキルアップに励んでいる。ホーム内の一日はその方に見合った処遇を受けながらレクリエーションや、語らいや軽運動による代謝機能の活性化も行なわれている。法人が運営するグループホームは大手町以外に2軒あるが今後、同法人内で交流会を企画され互いにコミュニケーションの輪を広げられよう、より理念の実現に繋がれることを期待したい。

グループホームぽっぽ大手町

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次にステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスとしての意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	法人理念を「人を大切につながるを大切に」として事業所全体の理念ぽっぽ5ヶ条を毎日の朝礼時に唱和し認識している	利用者と共存していこうという理念の趣旨は法人、事業所も共通である。分かり易い字句が的確に職員に近親感を与えて日々の支援に繋がられている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	施設が自治会に加入し、回覧板で地域行事の案内を頂くとなるべく参加させて頂くようにしている	現在はコロナ渦の最中にあり感染拡大を防止する為に地域交流は制限されている。定期的に職員による古紙の回収のみ実施されている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進会議で地域住民に施設での介護内容を説明し認知症を理解して頂く機会を設ける		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	二か月に1度の運営推進会議で、各施設の現状を報告し、意見を頂き、改善している	昨年の最後の会議は中止を余儀なくされたが2月には地域の方も参加され家族との面会の件、ヒヤリハットにどう対応するかの件、情報交等も話し合われた。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら協力関係を築くように取り組んでいる	市の窓口にご相談し助言をいただいている。地域相談員も月に1度来訪して頂き、連携を図る。	市の長寿介護課に行き生保者の処遇について相談したり事故報告し意見や助言を求めたりしている。昨年の運営推進会議の開催についてはコロナ感染についての懸念を伝えられた。	地域に存在する事業所としては市町村との連携は重要である。これからも市からの福祉情報の発信や研修の受け入れなどを活用されたい。
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束しないケアに取り組んでいる	身体拘束にあたるチェックシートを活用しながら、理解するよう心がけている。安易に臥床時に2点柵をしないなど事故がおこらないようその他の方法がないかを考えていく。	身体拘束排除マニュアルが作成されており遵守されている。勉強会も行われ職員の意識向上を図っている。利用者の自由行動と安全確保といった両面支援の可能な模索が行われている。エレベータや出入り口の施錠はされていない。	現在、ベッドの2点柵はされていないがその安全対策が課題になっている。これは家族にも感心の持てる深い論点なので事業所・家族の会談とされるよう推奨したい。
7		○虐待防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	研修会などで学び、もちかえり管理者と職員が話し合いの機会を設け、職員全体への伝達をしている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	研修に参加できるようにしていく。定期的に研修を実施し、内容を職員全体で共有できるようにしていく。		

9	<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>見学からお試し利用迄、入居者、家族への説明を介護支援専門員と共に行いながら、納得していただいたうえで、契約していただいている。</p>		
10	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>家族からの要望は聞くようにしている。相談など話しやすい環境作りを心がけている。</p>	<p>来訪時の機会を利用して要望を話されている。提案される事は余りなく意見箱の利用はもない。現状はコロナ禍にあり家族の訪問も制約されている。</p>	
11	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>管理者はリーダー職員と報告を密にし職員の意見を取り入れ実践・結果を明確にし改善している。</p>	<p>職員会議は月一回開催され要望意見が提起される。この機会に推進会議の決定も共有化も図られている。最近では服薬時には声を出して自覚意識の再確認を促している。</p>	
12	<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	<p>社内で評価制度を設け面談を行い把握に努めている。</p>		
13	<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際の力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>外部研修、内部研修には積極的に参加を促し、朝の朝礼時に報告、共有に努めている。資料を使用し、伝達している。</p>		
14	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている</p>	<p>地域主催の研修会にも積極的に参加している。</p>		

II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	本人と1対1で話をする時間をとり、十分に話を聞くようにしている。いつでも電話対応など可能であるということも説明し、安心していただいている。	
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居者の家族とも連絡を密にし一緒に考えていき、対応をしている。入居者、家族の要望にいつでも添えるように努力している。	
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	家族と一緒に考え、対応をしている。	
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	自分で出来る事は自分でしてもらい、家庭的な雰囲気の中で、職員と一緒に洗濯物を畳んでもらったり、家事炊事の手伝いもしてもらっている。	
19		○本人と共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会時やケアプラン修正時に近況報告を行い、暮らしや気づきの情報等、家族様と一緒に考え支えていく関係作りに努めている。	
20	8	○馴染みの人や場と関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご家族様やご友人様が訪問されたり、一緒に出掛けられたりと協力しながら支援を行っている。本人様の大切にしてきた習慣を大切にしている。	知人友人の訪問があれば協力的に受け入れたりしている。家族の力添えと共に馴染みの場所に外出する事も可能である。利用者が培ってきた従来からの関係継続に務めている。
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	座席の位置関係等も考えて生活してもらっている。調子の悪い入居者に対して他の入居者が声をかけたり、お互い助け合いをしながら生活している。	
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	節目で様子を伺い、相談などしやすいように心がけている。	

Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

23	9	○思いやり意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	利用者の意向を確認し、個別ケアを取り入れている。日々の中で、自然に出る思いやりの心を大切にしている。	生活歴を参考に利用者の特性を知り判断の素材としている。日常、発せられる感情や表情を察知し職員どうしで話し合わせ共有化が図られている。特に会議という形式ではない。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	これまでの環境背景については、家族様との情報交換を行い、把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	出来る限り本人様の意向に沿った過ごし方を尊重している。日々の関わりや、24時間の記録にて把握している。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人様や家族様からの意見や職員からの意見など担当者会議を行い、暮らしに合った本人様本位の計画を作成するように努めている。	本人の生活状況を知っているケアマネを中心として家族や管理者も参加して介護計画を作成する。期間は長期を1年とし短期は半年とするがADLの低下や体調に合してその都度の見直しはされている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	介護記録に、日々の介護実践記録を記入し、改善があれば、介護計画変更にも努めている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	身体状況や精神状況の程度に合わせて介助など考えている。必要であれば、家族との外出の見守りなども考える。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	近隣のスーパーや楽しみながら生活できる様支援を心掛けている。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	2週間に1回、事業所に往診に来てもらっている。電話連絡にて相談、報告をしたり、必要時には臨時に往診に来てもらったり、受診をしている。	事業所の協力医は希ファミリークリニックに依頼し往診を願っている。夜間の連絡も入院の手配もされている。入所以前からのかかりつけ医の診察も認められており現在、一人の方が受診されている。	緊急時には両医院の密接な連絡を受け継ぐ立場になることも想定される。家族との間で齟齬が生じないよう、これからも充分な仲介役をされていられるようお願いしたい。

31	<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるよう支援している</p>	<p>施設内に看護師を配置しており、定期的に利用者様の状態把握や体調管理を行っている。日常的には協力機関に連絡を行っている。</p>		
32	<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	<p>診療情報や看護・介護サマリーのやり取りや、入院先での説明・情報提供により、地域医療連携室の医療ソーシャルワーカーとの連携を行っている。</p>		
33	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や、終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域との関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>重度化による指針を作成し同意して頂いている。終末期については、ご家族様・医師等を交え話し合いを行い対応方針を統一し、困難なケアやサービスの希望する場合は医療機関との調整を行っている。</p>	<p>入所時に説明はされているが、終末期では医師の判断で延命治療入院か看取り介護支援かの判断を再び家族と話われている。相談では家族の意向は十分に汲み取られるように考慮されている。</p>	
34	<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>急変や事故に備えては、連絡の手順を明らかにし、管理者は看護師と連携し、協力医療機関への連絡を行い、対応している。職員にも市開催の救命講習に参加の呼びかけを行い、受講してもらっている。</p>		
35	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>消防署と連携して消防訓練を実施している。また近隣の消防団方に訓練への参加の声かけを行い、非常時の協力体制の確保に努めています。</p>	<p>年2回の避難訓練が実施されている。移動できる利用者は建物の外へ退避されている事で職員の緊急時の対応とされている。地元の消防団も24時間の対応をされている。</p>	<p>利用者全員の退避には消防団や消防署の協力が不可欠であるが、今後は職員を入居者に見立てても8人全員の退避訓練も実施されてはどうか。見方によれば重要な訓練とも取れるでしょう。</p>

IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

36	14	<p>○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保</p> <p>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている</p>	<p>ご利用者様に対して、個々の情報を把握し、今まで生きてこられた歴史を尊重し個々に合った声かけを行うことに努めている。</p>	<p>職員の言葉使いは適切なものであり互いに良い影響を与えており、更に相乗効果も産み出させているようである。研修も定期的に行われている。</p>	
37		<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている</p>	<p>ご利用者様に対して、固定観念でとらえない様に心がけ、傾聴を行い、その人らしさが出せる様努めている。</p>		
38		<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>ご利用者様の意志を尊重し、その方のペース・希望に合わせた支援を行い、その人らしい生活が出来る様努めている。</p>		
39		<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している</p>	<p>基本的には、本人様に好きな物を選択して頂き、季節に合わせて家族様にも協力して頂いている。</p>		
40	15	<p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>料理の下ごしらえや食器の片付けなど一緒に行えるように努めている。個人の好き嫌いに気を付け、嫌いな物は工夫し提供している。</p>	<p>事業所の厨房で調理されたものを配膳される。利用者には出来るだけ手伝ってもらうようにしている。楽しく食事をしてもらう為、食器の色を変えたりチラシ広告を見せたりしている。</p>	
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、集会に応じた支援をしている</p>	<p>食事量や水分量を記録し観察を行っている。看護師や職員全員で支援を行っている。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>職員が見守り援助し、毎食後声かけを行い、その方に応じた口腔ケアを実施している。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄パターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>全職員で自立に向けた支援を行っている。その方に合わせた促しや、訴えがない方でもトイレで排泄出来る様、様子観察を行っている。</p>	<p>時間単位で記録されや排泄一覧表に従って規則性のあるトイレ誘導をしている。脚力を維持する為、廊下を歩く訓練やいばらき体操(音楽、風景の映像を見る)をして自立支援に向けている。</p>	
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	<p>排便状況と水分摂取表を記入して観察を行い、水分補給の促し、適度な運動を心がけている。</p>		

45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている</p>	<p>ゆっくりと入浴できるように時間をとっている。曜日は決めているが、希望があれば入浴して頂いている。</p>	<p>週2回の入浴を実施している。湯の総入れ替え、洗髪、肌着もその都度交換されている。健康や清潔さの維持は確保されている。</p>	<p>出来たら利用者にも何か入浴を楽しんでもらえるような工夫もお願いしたいところです。</p>
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している</p>	<p>その方の状況に応じて休息や安眠ができるよう支援し、安心できる場所であると思っけるよう努めている。</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や要領について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>看護師を中心に、申し送りやミーティングの際に、注意すべき内容の周知を行っている。</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>日々の関わりあいでも各個人の楽しみを見つけ、楽しんでもらった出来事は手伝ってもらい、感謝を伝えるようにしている。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している</p>	<p>日々の健康状態や気分に合わせて、周辺の散歩など外出している。気軽に出かけられる様希望に沿った支援に努めている。</p>	<p>現在はコロナ禍の為、中断されている。普段の外出支援としては、高齢と体力的な面も考慮して、建物の周辺を回る程度の外気浴としている。桜見物には法人の車を借りて車窓からの花見も計画されている。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>施設内ではお金を使う事はほとんどなく、買い物をする時に付き添い、力量に応じてお金の支払い等支援を行っている。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>電話したい場合は、希望の要件を伺い職員が電話をして本人様に話してもらっている。手紙等などは、届いた場合は本人様に直接お渡しし、返信あれば支援を行う。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>施設全体をバリアフリーにしている。温度調整は外気を取り入れたり、空調を利用したりしている。</p>	<p>明るい壁の色、整理されたリビング、座りやすい椅子とテーブルの配置、適切な室内空調管理が居心地の良さを与えている。壁に掲載されている創作品が楽しい雰囲気を出させている。長時間寛げる空間であるといえよう。</p>	

53	<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>居間兼食堂では好きな場所に座って貰っている。思い思いに過ごして頂き、気の合う方とコミュニケーションを取ってもらっている。</p>		
54	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>家で使用していた使い慣れた物や、本人の思い出のあるものなどを持ってきてもらっている。</p>	<p>自分だけの落ち着いた部屋づくりが出来るのが居室であり、それぞれの思い思いの好みの家具、置物などが設置されている。掃除も行き届き清潔な環境の中で生活されている。</p>	
55	<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>各利用者様の残存機能や能力に応じて、トイレや食堂に近い居室にする等、配慮をおこない、積極的にできる事を支援している。</p>		

V アウトカム項目

56	職員は利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目 : 23, 24, 25)	②	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目 : 18, 38)	①	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目 : 38)		①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目 : 36, 37)	②	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目 : 49)	④	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目 : 30, 31)	①	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目 : 28)	②	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目 : 9, 10, 19)	①	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねてきている (参考項目 : 9, 10, 19)	④	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどいない

65	<p>運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目：4)</p>	②	<p>①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない</p>
66	<p>職員は、生き活きと働いている (参考項目：11,12)</p>	②	<p>①ほぼ全ての職員が ②職員の3分の2くらいが ③職員の3分の1くらいが ④ほとんどいない</p>
67	<p>職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う</p>	③	<p>①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない</p>
68	<p>職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う</p>	②	<p>①ほぼ全ての家族等が ②家族の3分の2くらいが ③家族の3分の1くらいが ④ほとんどできていない</p>